

事業所名 グループホーム倉敷北
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年10月20日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 特別養護老人ホーム勤務
資格・経験 介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 介護支援専門員
資格・経験 ホームヘルパー2級、介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・ホームの周りには銀行等商業施設が多く、生活しやすい環境であり、医療機関もすぐ傍にあり、医療面での万全なバックアップにより入居者・家族共に安心が得られる。
- ・地域の一員として、地域との関わりを大切にしており、地域の老人会の行事やコミュニティ祭りなどへ職員と共に参加し、地域との交流を図っている。
- ・入居者の今ある力を大切にしたいその人らしい生活の支援を心がけている。職員は、いつも笑顔を絶やさず丁寧に対応しており、入居者の方々は自分らしいペースでゆったりと暮らし、穏やかな表情で過ごされている。
- ・入居者の健康管理については、入居者一人ひとりの状況に合わせた支援を行っている。リハビリにも重点を置き、また、重度化した場合の対応も打ち出し、医療機関との強固な連携体制のもと、入居者が安全に安心して生活できる場の提供に努めている。
- ・職員の介護資質のレベルアップの大切さを十分認識し、サービスの質の向上に向けて研修等を積極的に行っている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・特に改善する点は見当たらない。今後も、益々研鑽され、より地域に根ざしたホームとなられることを期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者それぞれが持っている可能性を大切にしており、今までと変わらないその人らしい生活が継続できるよう、入居者が自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している。 ・職員は、入居者一人ひとりの意向や状況を十分把握し、職員側の都合を優先するのではなく、入居者それぞれのペースを大切にしたい個別ケアを心がけている。 ・入居者が地域の人達との交流を持ちながら生活していけるよう、地域との連携を大切にしている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・共用空間には、生活感や季節感を取り入れ、入居者にとって居心地が良く、くつろいでゆったりと楽しく過ごせる空間作りを心がけている。 ・職員は常に笑顔で対応し、入居者と一語に過ごしながら入居者の思いを汲み取って受け止め、お互いが協働しながら和やかな生活が送れる場作りに取り組んでいる。 ・洗濯物干しやおしぼりたたみなど、入居者の出来ることを大切に、遣り甲斐のある役割により、生き生きと生活できるように支援している。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にしたい整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者一人ひとりの持っている力を得意分野で発揮してもらえよう、食器拭きやおしぼりたたみ、水遣りなど、出来る事を毎日の生活の中で楽しみながら継続できるように心がけている。 ・口腔ケアは、出来る限り入居者の居室で行い、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援を行っている。排泄ケアの時には、他の入居者に気づかれぬようさりげなく誘導し、気持ちよく排泄できるように支援しており、入居者のプライバシーや尊厳をいつも大切に思い、支援している。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者は、職員育成の重要性を認識し、職員のレベルアップを図ることが入居者へのサービスの質の向上につながるの思いから、内・外部の研修に積極的に参加できるようにしている。また、職員のストレスを軽減するための環境作りに取り組んでいる。 ・問題発生時には、その都度カンファレンス会議を開き、職員一人ひとりが問題意識を持ちながら解決をめざしている。一つひとつの経験を積み重ね、全職員が介護の従事者として質を向上させ、入居者・家族との信頼関係をさらに深め、信頼される介護職員となるようめざしている。 		